



第 回	天皇制（テキスト第6章）
第14回	平和主義（テキスト第7章）
第15回	人身の自由（テキスト第13章）
第16回	期末テストに代えて期末レポート

## 授業時間外の学修

テキストの予め指示された該当部分を必ず読み、疑問点を意識しながら、授業に臨むこと。予習に要する時間は90分。  
毎回の授業内容を復習し、テキストをもう一度読み直し整理すること。要する時間は90分。

## 実務経験の有無

実務経験のある教員が担当する 例：企業団体の実務経験者・税理士・学校現場教員経験者・カウンセラー等

## ディプロマポリシーとの関連

①幼児教育者観	②知識・技能	③実践力と実務能力	④人間性と協調性
	○	○	◎

## ルーブリック

評価項目	優秀 (excellent)	平均 (average)	途上 (developing)	未達 (unachieved)
理解度	授業内容を100%理解しており、授業内容を越えた自主的な学修が行うことができていると認められる。	授業内容をほぼ95%程度理解していて、自主的な学修も少し行うことができていると認められる。	授業内容の理解はほぼ75%程度であることが認められる。	授業内容の理解は70%以下と判断できるため、レポートへの助言・新たな資料提供等の支援を行っている。
課題解決能力	他からの支援を受けずに独自の能力で課題を解くことができるとともに、解法が定まらない他者に的確なアドバイスができる。	基本的に他からの支援を受けずに独自の能力で課題を解くことができる。	参考資料を参考にしたり他からの支援を少し受けながら自身の能力で課題を解くことができる。	参考資料を参考にしたり他からの支援を受けたとしてもなかなか自身の能力で課題を解くことが難しいことから、助言を行っている。
調査能力	自ら進んでテーマのみならずその周辺問題について調べることができる。	テーマについて自分の力で調べることができる。	テーマについて調べてはいるが、その理解にはあいまいな点が多く、不十分な部分がある。	テーマについて調べることができない、もしくは内容が不十分である。
レポート力	テーマについて、授業で紹介した方法及びそれに類する独自の的方法により検討が十分になされている。	テーマについて、授業で紹介した方法で検討が十分になされている。	テーマについて、授業で紹介した方法で検討がなされている。	テーマについての検討がなされていない。

## 成績評価法（表形式）

	評価基準	備考
定期試験		
小テスト等	20%	毎回終了後に小クイズを実施 7回目に中間クイズを実施
成果発表		
授業への貢献度		

レポート	80%	期末テストに代えて期末レポートを課す。
その他		

## 課題へのフィードバック方法

定期試験や小テストの結果について	課題（レポート等）について	模擬授業、プレゼン、発言等について
授業の中で解説、講評する		

## ICTを活用した双方向型授業の内容

等 ム 用	クリッカー、アンケート、小テスト ビデオ会議システム メール等の活用
-------------	--

## アクティブラーニングの割合

総授業時間数の30～60%程度のアクティブラーニングである
-------------------------------

## アクティブラーニングの内容

書く・話す・発表する等の活動におけるAL	経験値・技能を高める活動におけるAL	授業時間外におけるAL
選 用 用	発問の吟味・精 グループワークのディスカッションやディベート（議論の場と時間） 小テストや授業内レポートの活用 調べ学習・調査の活用	

## 教科書

駒村圭吾編 「プレステップ憲法〈第3版〉」（弘文堂、2021年）

## 参考書

授業を進める中で適宜示す。

## SDGsとの関連

に	4. 質の高い教育をみんな
---	---------------

## 特記事項等

原則としてオンライン授業により行う。場合によっては課題提出型を行うこともある。  
資料がある場合も各回のチャンネルにアップしますので確認してください。  
出席はTeamsの出席者リスト機能により把握する。

## 学生へのメッセージ

質問については、Teams上の各回アンケート機能を利用して行ってください。

## 研究室（訪問先等）

連絡は原則メールでしてください。

## 電話番号

028-667-7111（代）

## 授業用E-mail

[harada.izumi@sakushin-u.ac.jp](mailto:harada.izumi@sakushin-u.ac.jp)

## 成績評価法

毎回終了後の小クイズと7回目の中間クイズ（20%）及び期末テストに代えて実施する期末レポート（80%）による評価

により行う。授業内容、特に重要テーマの理解度を判定し、60点以上を合格とする。